

※下記のとおり報告します。

会 議 名	第4回受入環境調査検討部会
日 時	平成24年1月20日（金） 15:00～16:20
場 所	田川市役所 1階大会議室
出席 委員	<p>松井 紀久男 部会長  浦田 憲一  佐渡 文夫（代理：山崎 修一商工会議所事務局長）  喜田 信基（代理：原浩志(株)JTB飯塚団体支店長）<small>欠席連絡</small>  村上 忠輔（代理：藤春直前理事長）  <del>文屋 俊子</del> <b>欠席連絡</b>  金子 哲大 副部会長  中寺 利和  江頭 直行</p>
	松岡副市長
	都市計画課 吉井都市整備部長、水上課長、長野係長、安藤補佐、松田主任（5名）
	総合政策課 犬丸総務部長、大峯課長、小川推進室長、綿施課長補佐、古木主任、今城主事
	コンサル 田村主任研究員
内 容	<p>1 開会  2 部会長あいさつ  3 議題  (1) 公園整備の方針について  ア ビジターセンターの機能について  （海外から多くの来観者を受け入れる視点、筑豊地域の「炭坑文化に係る教育観光」の中心地としての視点）  イ 市民の交流の場としての視点  (2) 交通誘導の考え方  (3) その他  4 閉会</p>
概 要	<p>1 開 会  事務局 開会あいさつ 9名中7名の出席  喜田委員（代理原委員）、文屋委員から欠席の連絡委員の変更があつている。  田川青年会議所村上委員が田川青年会議所理事長となり、代理者が藤春直前理事長に変更になっている。  まず、はじめに副市長から挨拶させていただく。</p>

副市長 昨年は3回にわたり審議をいただいた。

田川市としては、3月あるいは遅くともそれに近い日にちの中で、答申をいただければという想いでいる。

そういうことから、今年の会議は、会を重ねるに従い非常に重要度が増してくるのではないかと思う。

どうか最後までよろしくお願ひしたい。

## 2 部会長あいさつ

今日の議題は、2つほどがあるが、皆さんの忌たんの無い意見をいただきたい。よろしくお願ひする。

## 3 議題

事務局 公園整備の方針について 説明

部会長 事務局より、公園整備の方針ということで、まず、ビジターセンターの機能について説明があったが、具体的にビジターセンターの建物をどのように考えるか、既存の建物にビジターセンター機能を持たせるか、作兵衛さんの作品をどのように展示していくか、検討委員会で決まらなないと中々意見がそろわないのではないかと心配している。

インタープリテーション機能についても、この部分が決まらなないとガイドの仕方も決まらなと思う。

これについての、意見感想があったらいただきたい。

委員 その部分については、この部会で決めていいのではないか。

できれば独立した記念館を作るべきではないかと思っている。

部会長 個人的には、新しい建物を公園内に配置していただければと考えている。

事務局で、公園内のどこにどういう風なビジターセンターを考えるか、景観を含めて青写真を作っていただきたい。

委員 公園内に記念館を作るのは賛成であるが、商店街にも、小さなランチ（分館）を作って、3つの拠点とし、その3カ所でビジターセンターとして位置づけたらよいのではないか。

商店街には、大きさにコンテナ程度でよいので、きちんと作品が飾れて、対応できる設備さえ備えておけばよいし、常設ではなくイベントの時に本物がくるというようなことで、商店街の活性化につながるのではないかと思う。

作兵衛さんの作品は、絵画的価値ではなく、そこに書いてある情報そのものが価値となっているので、本物のまわし方で、小出しにした方がよいのではないかと思う。

外国人が入ってくることになるので、商店街でランチに行けば小休憩も取れるし、コミュニケーションがとれる場所としてあればと思う。（ビジターセンターの分館としての機能）

委員 ビジターセンターは、有形、無形の文化財を保存する中で必要であると考えている。

後藤寺、伊田の両商店街でも、作兵衛さんの記憶遺産登録を機会に、関連した取り組みを行っている。

現在レプリカの展示を行っているが、市外からの来訪者があり、今後も金子委員が言われたような、ランチの設置を検討している。

委員 伊田商店街でも、空き店舗を活用して、県立大学の学生さんと活用を検討している。

博物館と線路を挟んで最も近い商店街ではあるが、距離感が遠い状況にあるが、これを如何に結びつけるか、県立大学の地元に住んでいない人たちの意見をいた

だいているところである。

住んでいる人間にとっては、駅前から、博物館へのアクセスは、すぐわかるが、初めてこられた方には非常にわかりづらい。

そういう方のために、県立大学の学生さんにマップを作ってもらおうと考えている。

委員 抽象的な意見であるが、歴史的なものの扱いは、私たちの現状のベクトルを昔へ引っ張る案が多い。

イの視点は、そういったベクトルとは違った案になっており、よいと考えている。

無理矢理現在の生活に昔のものを合わせることも、一つの見方になるのではないか。

委員 やりたいことはたくさんある。その中でビジターセンターは短期的に必要なものであると思う。

その上で、田川市全体に波及しないといけない。

そのためには、今きているお客さんが両商店街に流れていただくように、空き店舗に、ミニシアターを作るとか、インタープリテーション機能を持った施設を設置してもらう。

そして結節する、取り付け道路の整備、案内標識の設置が必要である。

委員 ソフト面の受入環境の整備も重要である。

意外と作兵衛さんのことを知らない市民も多い。

まずは、学校教育を通じて再教育していただく場を作って、また、大人の方に対しては、市民講座を開くとか、市民全員がおもてなしの心をもって、観光客を受け入れるソフト面の環境作りも早めに取りかかった方がいい。

委員 ビジターセンターを利用する方が、どのくらいの人数で、どのような方を受け入れるのかを想定していかないと、いけないと思う。

広島原爆ドームのように、付近に観光地がないにもかかわらず来訪者が多い場所なども、検証しておく必要があると思う。

委員 ビジターセンターと作兵衛記念館を併設するという前提にして、来訪者は、全ての階層に対して対応できることを前提に考えないといけない。

また、外国の方々に対する標記等についても対応しておかなければならない。

部会長 ビジターセンター、展示施設を公園の中のどの位置にするのかを、事務局で青写真を作っていたきたい。

仮の土産物店舗ですが、完成はいつ頃か。

事務局 3月末を予定している。

委員 商店街の中で土産物店はできないのか。

委員 まず商品開発である。

副市長 第5回では、公園の拡大図面にビジターセンターの場所、面積等を落として用意したい。

販売所については、ビジターセンター開設までの仮店舗であることを改めてお知らせする。

部会長 事務局で用意することなので、それを元に機能の議論ができると思うし、公園として、市民の交流の場としての活用方策も出てくると思う。

それでは、次に(2)交通誘導の考え方について事務局の説明をいただきたい。

事務局 (2)交通誘導の考え方について 説明

委員 人が絡む案内の仕方：案内所等の設置も考えればどうか。  
部会長 そのあたりは、ビジターセンターの機能にもなるかと思う。  
委員 案内所の件があったが、観光協会設置の動きがあっているので、そこが担うこともあるかと思う。  
副市長 坑道の表現があったが、駅裏に新田川不動産が管理している 1 万 7 千平米の土地の中に 3 本の坑道が走っていると聞いている。そのうち 2 本は、所在がはっきりしていると聞いており、次回お示しができればと考えている。  
部会長 議題はすべて終了した。  
事務局 次回日程について、3月2日を予定し、時間場所等は追って連絡します。  
委員 石見銀山へのビジターセンターの視察を事務局で検討をしてほしい。  
部会長 以上で終了する。

次回会議	日時：平成24年3月2日（金） 午後3時から 場所：市役所4階 第2委員会室 内容：
------	--